

GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

3月号

2010年3月1日 Vol.187

発 行 医療法人財団 織本病院

印 刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261

TEL 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木由利



夢をつかむ

理事長・院長 高木由利



2月に入ってから雪の日が何日かあり、私は電車通勤をしました。雪で車に乗れなくていやだなと思うより、電車を体験できて楽しいと思うと、何となく心が暖かくなるのですね。

* * *

昨年、医局の岡田先生が講演する時の役に立つだろうと言って、2冊の本を下さいました。その1冊が“夢をつかむ イチロー 262のメッセージ”でした。こういう種類の本を自分で買うことはないので、私にとっては願ってもないプレゼントだったのです。“イチローは天才的なプロ野球選手”と私は以前から思っていたし、彼の業績は尊敬に値するものだと思います。

この本はイチロー選手が書いたのではなく、インタビューで彼が発言したことばの中で印象的なものをまとめていました。本の冒頭にはこう書いてありました。『イチロー選手の試行錯誤をまるごとぎっしりつめて“イチロー選手の具体的な行動と考えをいつでも思い出すことができて、なにを成し遂げようとする人にも参考になる”とでもいうような、勇気のわいてくる本ができあがりました。』その本の中にはとても印象的なことばがいくつありましたが、そのことばから私が受けたものは人間は皆同じだということでした。人は誰でも喜び、誰でも悩み考えながら生きていくのだ

と思います。そして問題に直面した時は、まず自分自身で問題点を1つ1つ分析し、小さなことを積み重ねて解決の糸口を見つけていくかもしれません。

ある治らぬ病気を持った患者さんとお話をしている時に“自分で最終治療の選択をしてから心が明るくなった”と話してくださいました。自分が今どういう生き方を望んでいるかを初めて真剣に考え始めたとおっしゃったのです。それまでいつも人の意見に振り回され、失敗すると人のせいにしていたというのです。きっとその方はどうすることが一番良いのかを1つ1つ分析し、自分に課せられた問題を考え、自分自身で答えを出したのだと思います。

この4月の医療費の改定を目前に控え、日本政府は着々と医療崩壊のシナリオを書き上げていくのを感じます。でも私はその最悪の環境の中で自分のすべきことを1つ1つ分析し積み重ねることで夢を実現させる方法を見出せると思いました。

“夢をつかむことというのは、一氣にはできません。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。”（イチロー談）イチロー選手は天才ではなく、努力の人だったのですね。

ケアセンターの方々に感動を頂いて…

織本混声合唱団 常任指揮者・声楽家 クロイツァー涼子



春は名のみの風の寒さや・・・2月6日土曜、日差しは春のようなのに北風が吹き、寒い午後でした。寒さで固まった身体が病院の中に入ると血液が体中を駆け巡り、急に温まりました。今日は毎年好例のケアセンターの演奏会。

私は毎回始まる前に少し不安がよぎります。私の振る指揮棒が合唱団の心に届き、そして歌が患者様の心に届くだろうか、そして何をお話しようか？と・・・。ところが病室に入ると白い美しい穢れのない顔で天使がベッドに横たわり、側にご家族の方が寄り添い、その光景は10年見なれた、温かい空気の流れる別世界です。

思えば、2000年7月、第1回ケアセンターの演奏会を行いました。私と妹（高木由利理事長）は、ずっと前から音楽療法のことを語り合い、必要性を感じていましたが、社会の認識は極めて低い状態でした。そして、その頃元気だった父（故、名誉院長）は、音楽療法というものに対して半信半疑でした。けれど信じている私は意識のない人の心に届く歌をどうしても歌いたかったのです。国内にいくつもない意識障害のセンターを持つ織本病院で音乐会をすることこそ意味があると感じました。

私は硬直しながら今までにない心の動揺を感じ、歌い進めて行きました。その頃20歳だった可愛い女性が私の歌うすぐその前でベッドから少し身を起こし、舌でリズムを取り始めたのです。側についておられるお母様は涙をぬぐいながら喜んでおられ、私はあまりのことには、目から涙があふれ、感激で歌えなくなりました。「私の歌をこの方は喜んでしてくれる」意識のない方が何故歌声が聞こえるのだろう、音楽とは一体何なのでしょう？意識障害の人の心に伝わる唯一のものは音楽である信じていたことが実証された瞬間でした。

その経験から私の歌は変化しました。自分が歌を選曲する時には、詩、作曲家が何を言いたいのかをとこ

とん理解し、私自身が感動したもの以外は歌わないことにしました。音楽を通して心の奥がすべて聴き手に伝わってしまうからです。

織本病院コーラス部が出来て30年になるでしょうか？形を変え、また団員はほぼすべてが入れ替わっています。現在のコーラス部は、混声合唱団になりました。男声が加わったことでハーモニーに厚みが出てきました。

ケアセンターの演奏会は2001年、2回目から私のソロではなく、この病院で働いている人たちの歌声にするべきと思いました。第1回目の素晴らしい経験を軸に医療従事者である合唱団がこの先歌っていくことは、患者様やご家族や、そして合唱団の団員のため



にも素晴らしい経験になるだろうと始めました。

今年で10回目の演奏会でしたが、また巡ってきた感動の瞬間がありました。それは、20歳で交通事故に遭い、30年遷延性意識障害者として入院を続けていらっしゃる方との出会いでした。その方は現在50歳。まるで若い青年のようなのです。そして合唱団の歌が盛り上がってきた頃、身体をよじり首を振り、まるで歌っているようにさえ見えました。お母様が横でリズムを取り優しく語りかけておられました。

また私は指揮をしながら涙で団員の顔が見えな

くなり、鼻をすすって必死で指揮をしました。今回の喜びは2つでした。その方のつかの間の喜びに立ち会えたこと、そして合唱団が真の意味で聴いてもらえる、感動してもらえる歌を歌えるようになったこと。お世辞でなく、意識障害の方からのメッセージをいただけたこと。

このことは私が20年も前から考えていた音楽療法の素晴らしい形の証でもあります。そしてまた、私は聴衆から大きな示唆と喜びを頂きました。

水仙

Dr.OKADAの 徒然なるまじ...

内科 岡田仁史



水仙が咲く季節が来た。春待ち遠しい季節、そう、水仙の季節。祖母の家の庭には、春になると水仙が咲いた。祖母は40年前に亡くなつたが、私にとっては“おばあちゃん”的である。開業医として働く父と、それをサポートする母は働き続けていた。私は、幼児期よりおばあちゃんの家にあづけられる事が多く、私の精神性の基礎を築いたのは、江戸に近い明治に生まれたおばあちゃんであったのだろう。

その小さな庭には、季節によりいろいろな花が咲いた。冬から春に移り変わる時期、まず水仙が咲いた。まだ雪解けで泥濘があるような時期に咲いていたと記憶する。辺りに色のない時に、黄色い花を咲かせる水仙が好きだ。最近は季節感や温度感、人間の持つ五感の基礎が狂ってしまっている。遠い昔、花屋で水仙は売っていなかった。今、水仙を庭に見つけることが出来ない。東京に出てきた私は、花屋でフリージアを見つけた。ひとつひとつの花の形と色だけは水仙に似ていたが、花の付き方や葉は全然違う。でもなぜか、おばあちゃん家の庭に咲く水仙が想像できた。水仙には、いろいろな種類があるという。私が好きなのは、あくまでも茎一本に一輪のオレンジ色がかった黄色い花を咲かせる水仙である。普段なかなかお目にかかる事はない。黄色繋がりで行けば、“平山みき”という歌手が好きだ。知っている人しか知らないと思うが、黄色の衣装を好む方で、“真夏の出来事”が代表曲。その声質と歌い方は投げやりとも取れる。勝手を言わせていただければ、まだ寒い、雪解けの泥濘に咲く黄色の水仙も、その投げやりさが素敵なのかもしれない。



メタボリックチェック



高血圧・脂質異常症（高脂血症）・糖尿病 これらの生活習慣が複数重なると動脈硬化が進行し、最悪の場合 **心筋梗塞・脳梗塞**などの重篤な動脈硬化疾患を引き起こし生命の危機にさらされてしまいます。

当院の『メタボリックチェック』では、体成分分析をはじめ、CTによる画像チェックや血液検査など様々なデータに基づき皆様の健康管理をサポートしていきます。病気の予防こそが健康の秘訣です!! ご自身の健康管理に当院の『メタボリックチェック』を是非お役立てください。

【お申込み・お問合せ】
健診ダイヤル 042-493-2361

X-SCAN チェック

検査時間：約5分

検査費用：1,260円（税込）

【検査内容】

- ・体脂肪率
- ・内臓脂肪量
- ・内臓脂肪面積
- ・皮下脂肪量
- ・部位別筋肉量
- ・腹部肥満率
- ・体水分量
- ・基礎代謝量
- ・身体年齢



【インピーダンス
(電気抵抗) 測定】

メタボ徹底チェック

検査時間：約45分

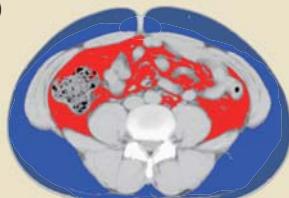
検査費用：6,300円（税込）

【検査内容】

- ・X-SCAN チェック（左記参照）
- ・血液検査
(総コレステロール・中性脂肪・HDL・LDL・GPT・γ-GTP)
- ・PWV 検査（動脈硬化度チェック）
- ・腹部 CT 検査
- ・結果票（総合判定・Dr 指導）

【腹部 CT 画像】

赤：内臓脂肪
青：皮下脂肪



第108回 腎疾患ゼミナール

『腎不全を理解しよう!!②

～検査データに変化が出たとき その2～』

腎臓内科：高木由利

薬局からのワンポイントアドバイス

『おくすりの飲み方について』 薬剤師：宮部 清一

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

日 時：2010年3月18日(木)

午後1:00～

会 場：オリモトホール（当院4F）
参加費：無料